

## ねじ規格「NPT」と「NPTF」

## NPT（アメリカ標準一般管用テーパードネジ）

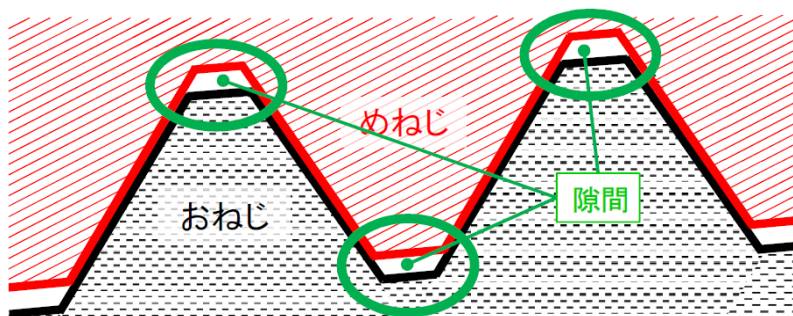
…一般的なテーパードネジの規格で、耐密性が必要な時はシーリング剤が必要

## NPTF（アメリカ標準ドライシール管用テーパードネジ）

…ねじ山が特殊な形状になっており、シーリング剤を使わなくても耐密性が確保できるので、シーリング剤が溶けてしまうような高温の部分に用いられる。

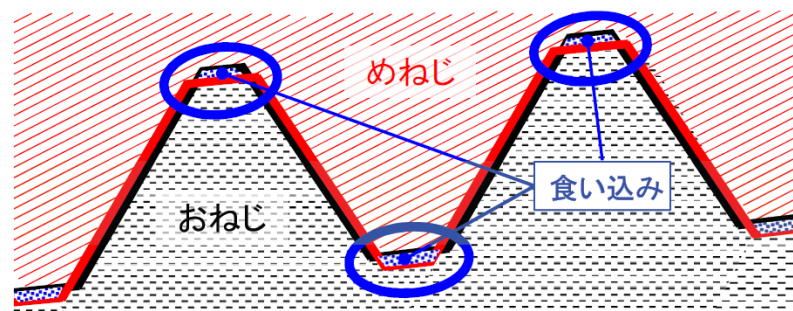
※NPT、NPTFともANSI規格のねじであるため、JIS規格やISO規格のねじと互換性はない。

## NPT（一般用管用テーパードネジ）の場合



おねじとめねじの山頂と谷に隙間があるため、シーリング剤で耐密性を確保する。

## NPTF（ドライシール管用テーパードネジ）の場合



おねじとめねじの山頂と谷が密着または食い込んで耐密性を高くしている。

## 【参考：品質不適合事例】

定検工事にてアクチュエーターの交換作業を行ったが、運転後に不具合が発生しアクチュエーター内部にシールテープの噛み込みが発見された。

アクチュエーター交換の際、潤滑油供給口のNPTFねじ部（シーリング剤不要）にシールテープを巻いており、ねじ部からはみ出したシールテープが混入したと思われる。